

第 22 号

2017 年 9 月 8 日
(平成 29 年 9 月 8 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8001
奈良市法華寺町 254-1
株式会社奈良ロイヤルホテル内

総会・講演会、ムジーク講話、講師養成講座を好評開催！



今年合格された皆さん (6/17)

今年はとても暑い夏でした。皆さん、ご体調はいかがですか？

夏場、当会は室内での講演などを中心に活発に活動しました。その一端を以下に紹介いたします。

(専務理事 鉄田憲男)

総会・講演会・懇親会を開催

6 月 17 日 (土) 当会は奈良ロイヤルホテルで第 5 回総会、第 7 回記紀万葉シリーズ講演会と懇親会を開催しました。講演会では阪南大学国際観光学部教授の来村多加史氏が「天平人が思い描いた神武東征伝説の舞台」をご講演。懇親会には県観光局長の森田康文氏をお迎えし、ソムリエ合格者の自己紹介などを交え、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

ムジークフェストに会員を派遣



ムジークフェスト (6/22 蔵王堂)

6 月 10 日 (土) から 16 日間、「ムジークフェストなら」が開催されました。今年は県からのべ 11 カ所のべ 17 人によるミニ講話のご依頼をいただき、当会から会員を派遣、お客さまからご好評をいただきました。来年以降も要請がある模様ですので、たくさんの方のご協力をお願いいたします。

講師養成講座を開催

7 月 23 日 (日)、会員から講演会の講師を輩出するため、今年も「講師養成講座」を開催しました (講師=鉄田)。良い講演をするためのポイントは以下の通りです。

- 1.参加者が求めるテーマを選ぶ
- 2.必ず「PowerPoint」を使う
- 3.画面は 8(or 4)の倍数で作る
- 4.冒頭には「自己紹介」画面を
- 5.「つかみ」をよく考えておく
- 6.「平易で楽しい」講演にする
- 7.単調 (教科書的) な話はダメ
- 8.スクリーンではなく、お客側を見る
- 9.レーザーポインタ (または指し棒) は、念のため持参する
- 10.最後には「まとめ」画面を



松永佳緒莉さんの熱演 (7/23)

この日は松永佳緒莉さんが「磐之媛」に関する講演で講師デビューし、拍手喝采を浴びました。

なお今般、当会・吉川和美さんの発案で「講師陣リスト」を制作。



鉄田憲男 (てつだ のりお)

基本情報 1953年11月22日生 奈良市在住
趣味 食べ歩き・写真・読書・ブログ制作
講演の例 (歴史) ・邪馬台国畿内説 ・古事記 ・天誅組
(人物) ・空海 ・奥田信繁 (幸村) ・土佐三郎
(企画もの) ・●分でわかる入門講座 (仏教・横尾重、奈良観光など)
(食) ・奈良の食文化 ・和食 (世界遺産)
(地域) ・吉野 ・紀北 (和歌山県北部)

曜日 平日対応可能

このリストは随時更新しますので、追加掲載・変更ご希望の方は、鉄田のアドレスまでご連絡ください。

tetsuda.n@gmail.com

友松さんが「よ〜いドン!」に出演



ロザンと共演する友松さん (8/9)

8 月 9 日 (水)、関西テレビの人気番組「よ〜いドン!」に、第 1 回 Nara 観光コンシェルジュアワード最優秀賞の友松洋之さんが出演。

お笑いのロザンと春日大社でクイズを楽しみました。

当会は、数多くのメディアから注目を集めています！

うまいもん奈良

女性グループ（ソムリエ）の活動として、ウォーキングの途中で気軽に立ち寄れる、ランチスポットや話題のお店を発信します。今回は、秋には絶対訪ねたい山の辺の道、天理柳本エリアに新しくオープンしたお店を紹介します。周辺には長岳寺や崇神天皇陵、景行天皇陵、黒塚古墳など見どころが数珠つなぎです。



洋食 katsui

《洋食 Katsui 山の辺の道》

山の辺の道の魅力を紹介する学習休憩施設、トレイル青垣が美味しい洋食屋さんとしてリニューアルされています。

崇神天皇陵を眺めながら老舗の味が楽しめます。お勧めは洋食定食ランチ。店内入口のフリースペースはお弁当を持ち込んで休憩することもできます。地元で採れた野菜が置かれているのも山の辺の道ならでは。

《ティーハウス クリノキ》

トレイル青垣の前にあるオシャレなペンション風の建物。紅茶専門店でも本格的な英国の家庭料理が味わえます。一番の人気メニューはイングリッシュブレッ

クファースト。ボリュームのある朝食がクリノキ風にアレンジされており、香り深い紅茶と共に提供されます。



イングリッシュブレックファースト

日本最古の古道、山の辺の道に新しい名店がオープンしました。空腹を満たして午後のハイキングに備えてみてはいかがでしょうか。

(道崎 美幸)

シリーズ「奈良県の鉄道遺産」

「大和鉄道」の跡をたどる

古代から奈良盆地の道は「上ツ道」「中ツ道」「下ツ道」「横大路」のように南北・東西に通るものも多く、斜めに走る「太子道」は「筋違（すじかい）道」とも呼ばれ珍しいものでした。

今でも縦の国道24号と横の国道165号を斜めに結び、現代の筋違道ともいえるのが田原本から桜井に至る県道16号線。緩やかなカーブを描くこの道も、そう「廃線跡」です。

大正12年（1923）に王寺－桜井間を蒸気機関車で全通させた「大和鉄道」ですが、その後、電車で開通した現近鉄橿原線・大阪線などにより存在意義が薄くなり、昭和19年（1944）に田原本－桜井間が休止、昭和33年（1958）に正式廃止とな

りました。残された王寺－田原本間は電化され近鉄田原本線として現在でも残っています。



寺川の橋台跡
上は近鉄の橋梁

大和鉄道の遺構で最大のものは桜井駅の少し西側、近鉄大阪線が寺川を跨ぐ真下に残されたコンクリートの橋台跡。川の中央には鉄骨の断面が見える橋脚跡も残っています。写真の反対側の橋台は道路の真ん中に障害物のように鎮座しています。

旧線路跡の県道を北西に進み、もう一度渡る寺川の中にも橋脚の跡が

残りますが、さすがに休止から70年以上も経過すると鉄道の痕跡は非常に少なくなります。それでも旧「大泉」「味間」駅跡付近には、プラットホーム跡らしきものが、また味間の少し西の水路には橋台を支えた石組み等がわずかに見られます。



西田原本の旧ホーム

最後の遺構は近鉄西田原本駅構内に残る、使われていない古いプラットホーム。車止めの向こうに続いていた線路を頭に思い描いてみてはいかがでしょうか。(小林 誠一)

合格体験記



中学生の時に訪れた飛鳥で、長閑な田んぼの中にごろっと大岩が転がっているような石舞台古墳や、野のお地蔵さんのようなたずまいのまご入鹿の首塚を目にして、「奈良って、さりげなくすごいものがあってかっこいい！」と魅了されました。近年、さりげなさが無くなってきているのを

少し残念に思います。

以来、奈良に住めたらいいなあと思っていたところ、思いが通じたのか、主人がまさかの奈良転勤に。なんと素晴らしい伴侶に出会ったのでしょうか。

奈良検定のテキストはかなり以前に買っていたのですが、読むほどに「行きたいとこリスト」が長くなり、奈良検定は忘れ去って、リスト消化に没頭してしまいました。でも元来、「エアコンは来客時のみ」というケチですので、これじゃテキスト代2千円がもったいないと、3年前から本来の使用目的を開始しました。それまでのリスト消化奮闘の成果とドケチ根性で、お金のかかるセミナーは一切受けず、図書館から借りてき

た本と過去問のみで、ソムリエざりざりの71点で合格し、胸をなでおろしました。

ソムリエの会出版の2冊の本と、来村多加史著「奈良時代一周」、大宮守友著「奈良県謎解き散歩」、吉野正美著「大和古寺めぐり」、丸山顕徳著「奈良伝説探訪」などが、とりわけ面白く役に立ちました。

月に10日ほど楽器を担いで歩いている音楽大好き人間ですので、6月のムジークフェストの2週間が至福の時間で、今年もボランティアを含め8公演楽しませていただきました。

いつかソムリエの会を通してお返しできるよう、これから研鑽を積みたいと思います。

(大谷 巳弥子)

合格体験記



同級生が奈良検定ソムリエ合格と聞いたとき、「それなに？」

「何をするの？」が正直なところだった。それから数年が経ちリタイアを翌年3月に控え、その後どうしようかと考えていたところ、奈良検定チャレンジを思い立ち、締切り間際に受験申込をした。

教科書を2回ぐらい読み、過去

問を集中的に覚えて、何とか2級の合格を果たしたが、その過程で、奈良のことを何も知らなかったなと心底思った。日本史は大学受験で詰め込んだがほとんどを忘れてしまっていた。有名な寺も行ったことがなく由来も知らない。神社は子供の頃のお祭りの夜店の思い出しかない。石舞台は小学校の遠足で見た畑の中の大きな石でしかなかった。「ならまち」に生まれ育ったが、正月に家の前に来ていた獅子舞や、黄金バットの紙芝居のおじさんは何処へいったのだろう。今はおしゃれなカフェや食事処、小物の店が眩しい様に並んでいる。

多くの人に奈良を知ってもらいたい、そのためには自分自身が

奈良をもっと理解せねば、というほど高尚な思いを持っていた訳ではない。それより奈良検定の勉強は単純に面白かった。

1級以上の奈良検定受験に際しては、ソムリエのガイドウォークや受験講座を受け、奈良についての色々な事の幅と深さを垣間見ることができ恩義を感じている。

幸い、1級、ソムリエと順調に合格したが、入口に立っただけに過ぎず、今後ソムリエの会を通して恩返しをしなければならない。

懐古趣味や自己満足にならず、また単なるふるさと自慢に留まらず、「多くの人に奈良を知ってもらいたい」を肩肘張らずやっていければと思う。

(三宅 努)

シリーズ「大和の伝統行事」

「高田のいのこの暴れまつり」

12 月第 1 日曜日



農具を奪い暴れる子ども(亥の子)たち

祭りの概要

桜井市高田の山口神社における、山の神祭りを俗に「いのこの暴れまつり」といい、県の無形民俗文化財に指定されています。

神社に捧げた物を奪い合い暴れまわる子供祭りで、早朝から御飯

屋を集荷場の外に作ります。御飯屋には鍬、鋤、鎌、鋸、槌などのミニチュアがまわりにつるされ、その上に神社の分霊を移した屋形を乗せ、赤飯・ご神酒などの神饌を供えます。

○御飯屋暴れ

午後 2 時、屋形と供え物が神棚に祀られ、大当屋の合図で子どもたちが農具のミニチュアやおひねりを奪い合い、御飯屋を叩き潰して暴れます。

○膳暴れ

午後 3 時、膳暴れが開始されます。当屋の合図で膳や碗を蹴ったり叩き割ったり、乱暴が始まります。あばれがひどいほどその年は平和で豊年であるといわれます。

○灯明消し暴れ

午後 6 時、子供たちがヌレワラを持って集まり、それで神棚の灯明を消します。「暗い！火ともせ火ともせ」とどなり暴れます。

この奇祭が終わると山口神社で、屋形を次の大当屋に引き渡します。この祭りに先立ち吉野町大名持神社に参り、吉野川から「御白石」を持ち帰るオナンジ参りが行われ奉納されます。

奈良県では他にないユニークな神事であり、少子高齢化が課題ですが地域活性化を図り、永く保存継承されていくことを願っています。

【行き方】

近鉄線及び JR 線桜井駅から南へ徒歩 30 分

(保存継承グループ・水間 充)

10 月 8 日（日） 天理で”奈良まほろばソムリエ大会”開催！

<午前>天理参考館特別展 “古典の至宝” 見学会

集合：現地 10:00～ 入館料 400 円

他にガイドグループの史跡巡りがあります

<午後>第 8 回シリーズ講演会 13:30～15:00 (予定)

会場：天理市文化センター

講師：田辺征夫氏 (奈良文化財研究所 前所長)

演題：法隆寺再建・非再建論争の学際的評価

みなさんぜひ
ご参加ください

<編集後記>

何となくおかしい天気が続きましたが、暑かった夏も終わりました。これからは、活動しやすくなる季節になります。いろいろなところへ出かけてみましょう。

(広報 G) 秋山・大谷・窪田・川邊・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田(敏)・永井・中村・廣岡・二上・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8001 奈良市法華寺町 2 5 4 - 1

株式会社奈良ロイヤルホテル内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記 (ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HP の QR コード